

全体会

● 11月23日(日) 10時～15時 中央区立中央会館ホール (終了後、はたらく女性のデモ行進)

◆講演 「もっと輝け はたらく女性！ 男女差別や“使い捨て”は許さない！」

講師 石川 康宏 さん (神戸女学院大学助教授)

紹介 経済理論や日本政財界の経済戦略、「構造改革」などを研究するとともに、2000年に「神戸女学院大学ジェンダー研究会」を呼びかけ、女性の社会的地位やジェンダー問題の研究会を続けておられます。

◆構成劇 「はたらく女性の明日をひらく」(争議団紹介を含む)

◆基調報告 ◆決議・アピール採択



文化行事 女声合唱

女性のうたごえ東京連絡会

1985年、日本のうたごえ祭典「教職員と母と子のステージ」をきっかけに結成。音楽を通じて手をつなぎ、真実を見抜き、平和を守る活動をめざしています。

現在、18サークル、個人加盟13名。



オープニング 民舞

足立民舞サークル

太鼓と踊りに魅せられた足立区の教師・保護者を中心に、全国各地の保存会の方から教わった民舞などを仲間同士教えあい、20年余活動しています。

演目 ミルクムナリ、よっちょれ

分科会

● 11月22日(土) 13時～17時 日本教育会館 (受付は8階)

分科会名	助言者	主な内容
1 解雇・低賃金・長時間労働 …こんな働き方はイヤ！ ——パートも正規も人間らしく働きたい	滝 沢 香 (弁護士)	リストラ「合理化」、倒産、パート・派遣労働者の増加、若者の就職難、賃金・下請け単価の切り下げ、正規労働者の長時間労働・広域配転など深刻な事態を打開し、みんなが安心して働くために話し合しましょう。
2 元気でいきいきと働くために ——はたらく女性の体と心	板 津 寿美江 (産婦人科医)	あなたの心と体の健康は大いじょうぶですか？ ひとりで悩んでいませんか？ 女性のからだのしくみ、生活、働き方などについて学び、交流し、心も体も元気でいきいきと働きつづけましょう。
3 国際基準からみた日本の働き方 ——男女差別をなくすには	坂 本 福子 (弁護士)	ILO条約・女性差別撤廃条約など世界の水準から大きく立ち遅れているわが国の労働実態と男女平等。国際基準を学び、職場の実態を交流し、人間らしく平等に働くルールを確立しましょう。
4 年金・税制「改革」 女性の自立したくらしは・・・	唐 鎌 直 義 (専修大学教授)	2004年の年金制度や税制「改革」、さらに消費税の引き上げももくろまれています。国民負担のみを強いる「構造改革」をストップさせ、だれもが安心してくらし、女性が自立できる年金や税のあり方を考えましょう。
5 くらし・職場から平和を考える ——戦争協力はしない、させない	千 坂 純 (日本平和委員会事務局長)	アメリカへの戦争協力、イラクへの自衛隊派遣など、日本を再び「戦争する国」にする動きの強まり。“国民保護法制”の制定や憲法「改正」の検討も……。平和を守るとりくみをいまこそ！
6 なぜ頻発する少年事件!? 考えよう 家庭・地域・働き方	西 村 眞智子 (全司法労働組合)	頻発する少年事件、“キレル”子どもたち、ひきこもりや児童虐待。子どもたちがすこやかに育つために、発達のゆがみの背景を明らかにし、家庭・地域・働き方について考えましょう。

「はたらく女性の中央集会」

15

1956年に東京で第1回集会所が開催されて以来、労働組合女性(婦人)部や女性団体がさまざまな困難をのりこえて、統一と団結を守って毎年、開催してきました。

女性労働者・業者婦人・農林漁業の女性が共同して女性のはたらく権利や労働条件の改善・くらし・平和・男女平等の実現・女性の地位向上をめざして学習・交流・討論する場です。

多くの県で地方集会所がひらかれています。

